

KH62

※必ず施工前にお読みください。また本説明書は取付け後も破棄せずご使用者にお渡しください。

KAWAJUN
www.kawajun.co.jp

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、この安全上のご注意をお読みのうえ、正しく施工してください。本体と同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、施工工事完了後、お引き渡し時にお客様にお渡しください。

■表示内容を無視して誤った施工の仕方をした時や施工時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。 ■お守りいただきたい内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 **注意** この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合または物的損害のみの発生が想定される」内容です。

禁止 この図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。 **強制** この図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告 取付けに関する警告

※作業中は施工場所周囲に防護柵等を施し、手すりが使用できないことを周囲に分かるようにしてください。

ケガ、転落事故の原因となります。

取付けは必ず取付工事が施工してください。その他の人は絶対に施工しないでください。危険です。

※石膏ボードなどに取付ける場合は最低12mm以上の裏板を使用してください。

※屋外や浴室等水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。

部品等が腐食して、破損や落下等の原因となります。

部材の固定は同梱しているネジを使用し確実に締め込んでください。固定が不完全な場合、製品のガタツキや、落下してケガをするおそれがあります。

警告 ご使用に関する警告

用途以外のご使用はしないでください。破損してケガをするおそれがあります。

取付けの際、電動ドライバーのトルクを調節し、ビスを空転させないようにしてください。

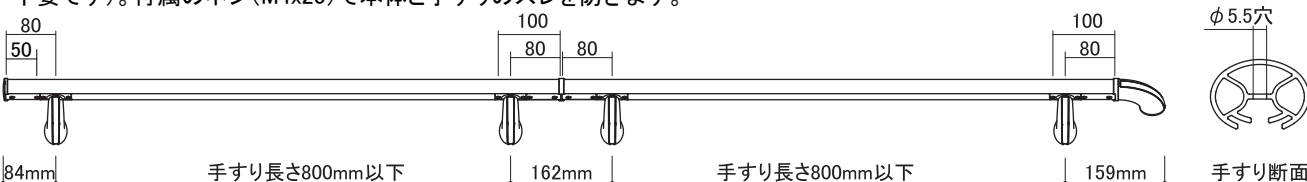
部材の保管は、湿気や直射日光のあたるのあたる場所を避けてください。

注意 ご使用に関する注意

化粧品や薬品が付着しない様にしてください。付着した場合はすぐに、完全に拭き取ってください。放置しておくと変色や腐食、劣化して破損しケガをするおそれがあります。

お手入れは乾燥した柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい時は水、又は水で薄めた中性洗剤(5~10%程度)を含んだ布で拭き、乾燥した布で水分を拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、酸やアルカリ性の洗剤、クレンザー等のご使用にならないでください。

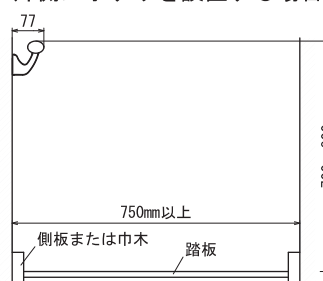
図のように取付け間隔を厳守してください。手すりや本体が破損したり、接続金具がはずれ、ケガ、転落事故の原因となります。また各手すりの端面から100mm、50mmの位置にφ5.5の貫通穴を設けてください(キャップを使用しない場合は50mmの位置の穴は不要です)。付属のネジ(M4x20)で本体と手すりのズレを防ぎます。



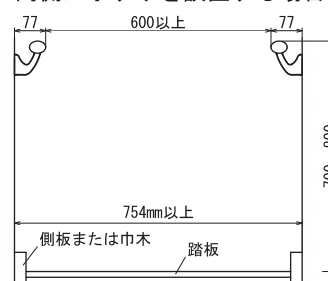
手すりの設置位置について

- 図のように手すりの取付け高さは段鼻、床位置から700~800mmが一般的です。(使用される方の使いやすい位置に設置してください。)
- 階段有効幅は建築基準法に基づき、750mm以上確保してください。図のように片側へ取付ける場合、手すりの幅が100mm以内であれば階段有効幅の750mmに算入することができます。手すりを両側へ取付ける場合は、手すりの空間隔が600mm以上あることが必要です。(この場合は、階段自体の有効幅は754mm以上必要です)
- 手すりの取付け位置寸法を厳守してください。

片側に手すりを設置する場合



両側に手すりを設置する場合



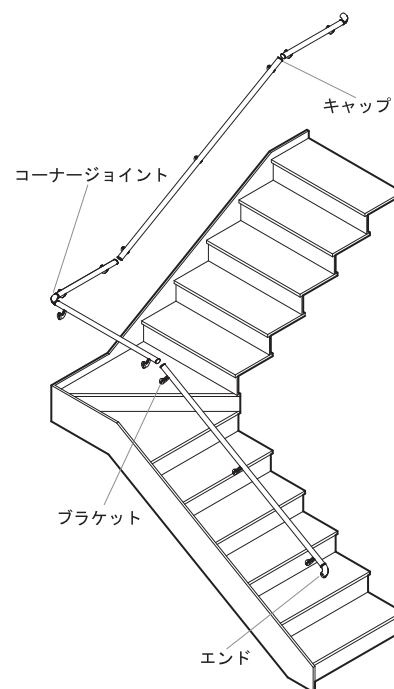
施工前にご確認ください

- 開梱したら、部材に損傷等がないかご確認ください。取付け後の損傷クレームについては責任を負えません。

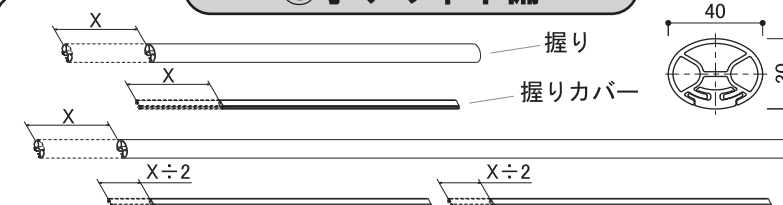
施工方法 (下準備)

階段手すり姿図例

※階段手すりは階段の形状により取り付け方が変わりますが、施工方法は共通ですので下記施工方法を参照のうえ、施工してください。



①手すり下準備

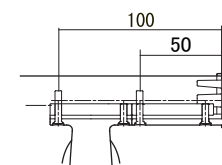


①握りをカットする場合は、握りカバーも同じ長さでカットしてください。
※ブラケットを同ピッチで設置したい場合は、下記の計算で算出してください。
【握りのカット寸法(X)÷握りカバーの本数=握りカバーのカット寸法】

注意 ●ブラケットとブラケットの間には必ず握りカバーを差し込んでください。

警告 ●KH62専用の握りを使用してください。指定した握り以外の部材を使用した場合の損傷クレームについては責任を負えません。

②カットした握りの片方の端面から100mmと50mmの位置にφ5.5mm貫通穴をあけてください。
※キャップを使用しない場合は50mmの位置の穴は不要です。
※ジョイントで2本以上の握りを使用する場合、それぞれの握りに貫通穴をあけてください。

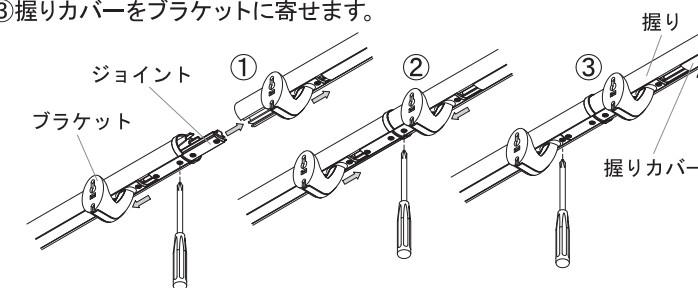


③ブラケットと握りをネジ止めします。その際②の貫通穴の位置は付属のネジ(M4x20)に交換し貫通させてください。

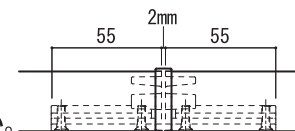
注意 ●安全のためネジ(M4x20)は必ず握りとブラケットを貫通させてください。

警告 ●指定のネジ(M4x20)で握りとブラケットを固定しなかった場合のケガ、損傷などのクレームについては責任を負えません。

- 握りをジョイントで連結する場合
- ①連結する手すりにブラケットを挿し込みジョイントを手すりに奥まで挿し込んでネジ止めします。
- ②ジョイントにブラケットを寄せ当てるネジ止めします。
- ③握りカバーをブラケットに寄せます。



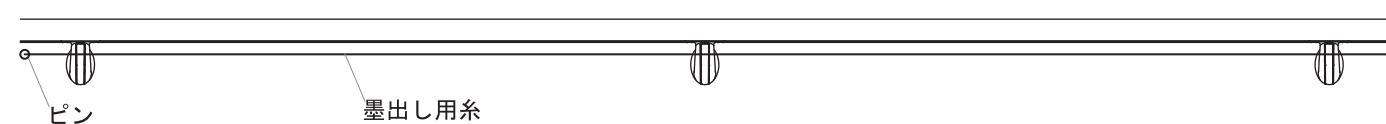
●ジョイントを手すりに取り付ける場合は+2mm必要になりますのでご注意ください。



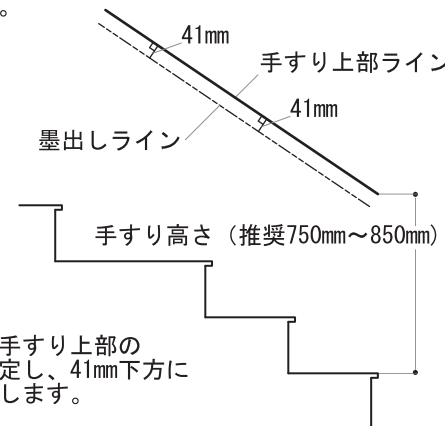
注意 ●手すりはジョイントの奥まで差し込んだことを確認のうえネジ止めしてください。

警告 ●ジョイントを使用する場合は、両側に必ずブラケットを取り付けてください。

②墨出し



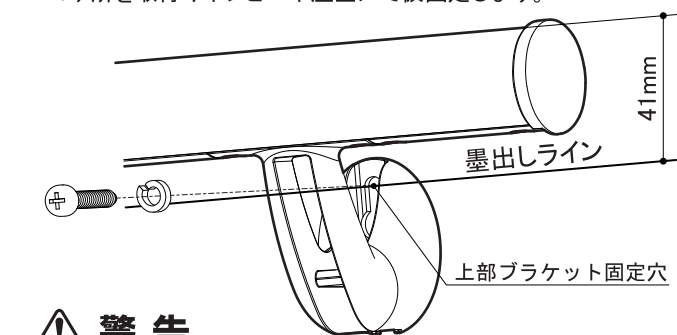
●手すりの高さを設定し、41mm下方に画鋲や風糸等を用いてブラケット取り付け位置を示す、墨出しをします。
※ブラケットを仮止め(手順③)した後は糸を抜き取ってください。



●段鼻から手すり上部の高さを決定し、41mm下方に墨出しをします。

③ブラケット仮固定

●上部ブラケット固定穴を墨出し位置にあわせ、1ヶ所を取付けネジとバネ座金にて仮固定します。



警告

●ブラケット取付ピッチは800mm以内に取り付けてください。

施工方法（取り付け）

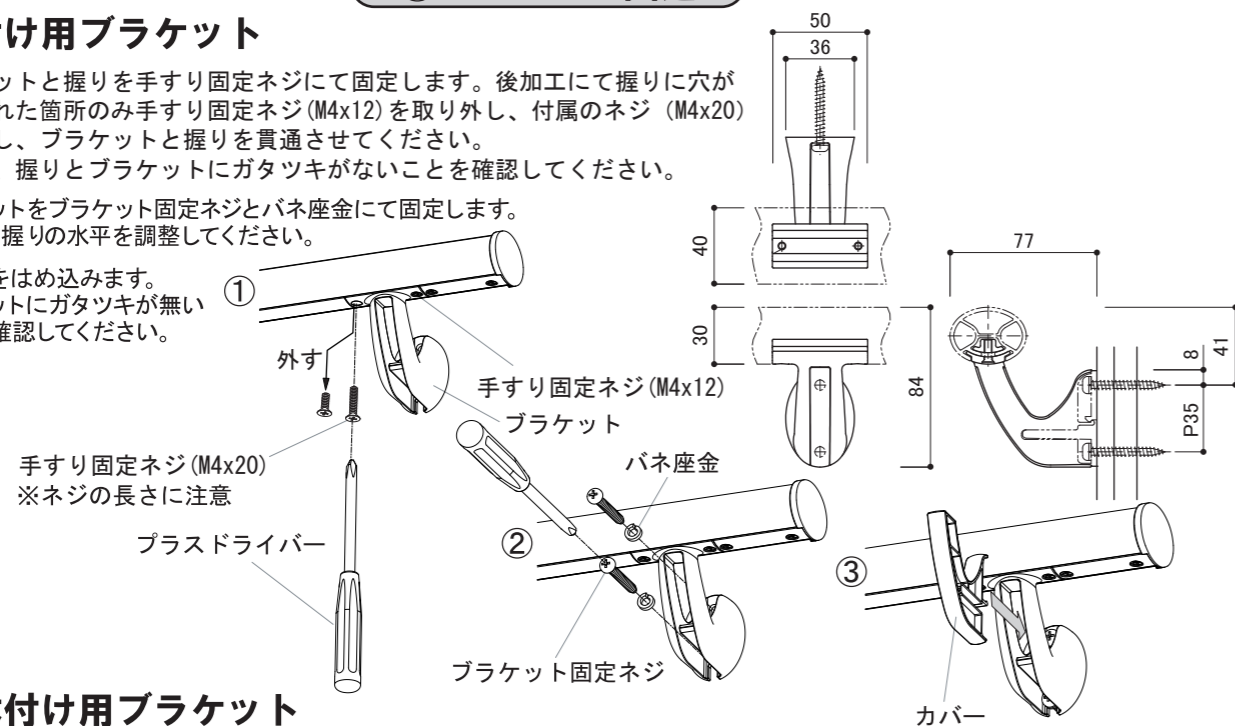
④ ブラケット固定

● 壁付け用ブラケット

① ブラケットと握りを手すり固定ネジにて固定します。後加工にて握りに穴が
あけられた箇所のみ手すり固定ネジ (M4x12) を取り外し、付属のネジ (M4x20)
に交換し、ブラケットと握りを貫通させてください。
※この時、握りとブラケットにガタツキがないことを確認してください。

② ブラケットをブラケット固定ネジとバネ座金にて固定します。
※この時、握りの水平を調整してください。

③ カバーをはめ込みます。
※ブラケットにガタツキが無い
事を再確認してください。

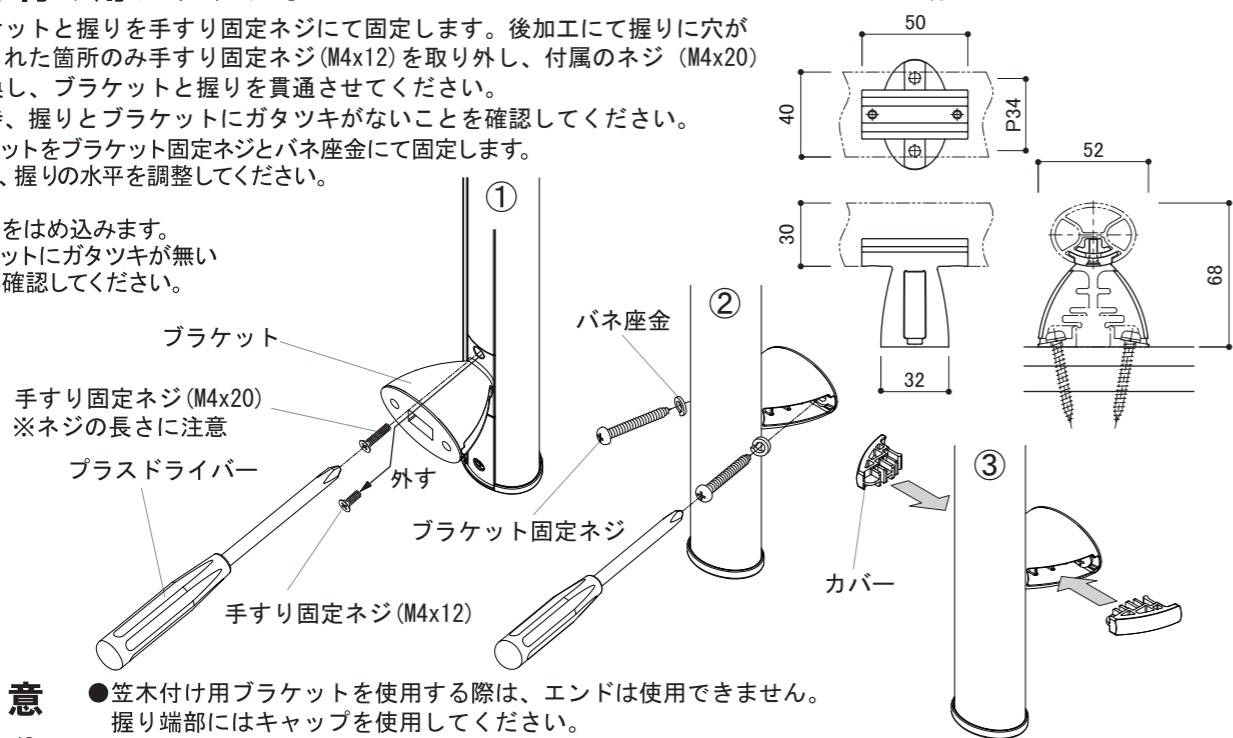


● 笠木付け用ブラケット

① ブラケットと握りを手すり固定ネジにて固定します。後加工にて握りに穴が
あけられた箇所のみ手すり固定ネジ (M4x12) を取り外し、付属のネジ (M4x20)
に交換し、ブラケットと握りを貫通させてください。
※この時、握りとブラケットにガタツキがないことを確認してください。

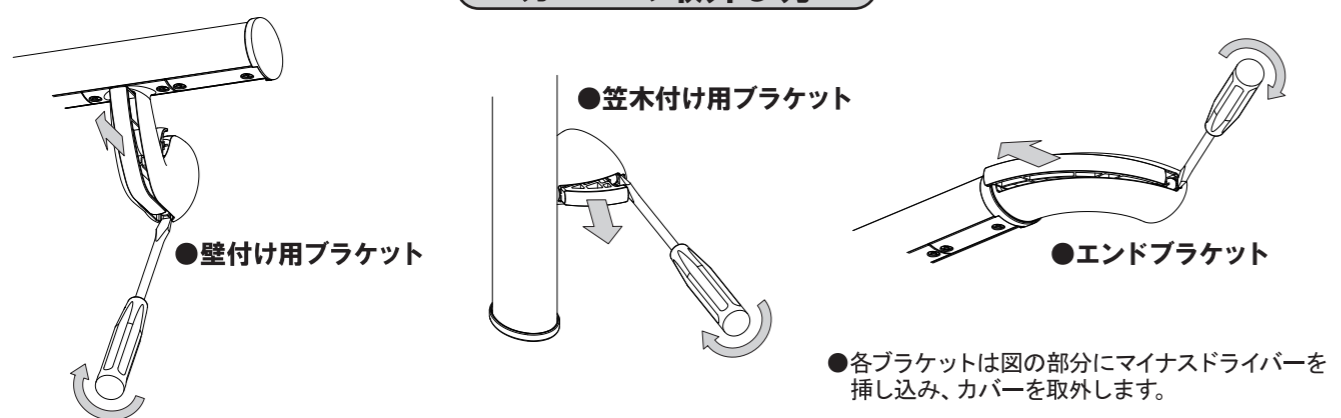
② ブラケットをブラケット固定ネジとバネ座金にて固定します。
※この時、握りの水平を調整してください。

③ カバーをはめ込みます。
※ブラケットにガタツキが無い
事を再確認してください。



- ⚠ **注意** ● 笠木付け用ブラケットを使用する際は、エンドは使用できません。
握り端部にはキャップを使用してください。
- ⚠ **警告** ● ブラケット取付ピッチは800mm以内に取り付けてください。

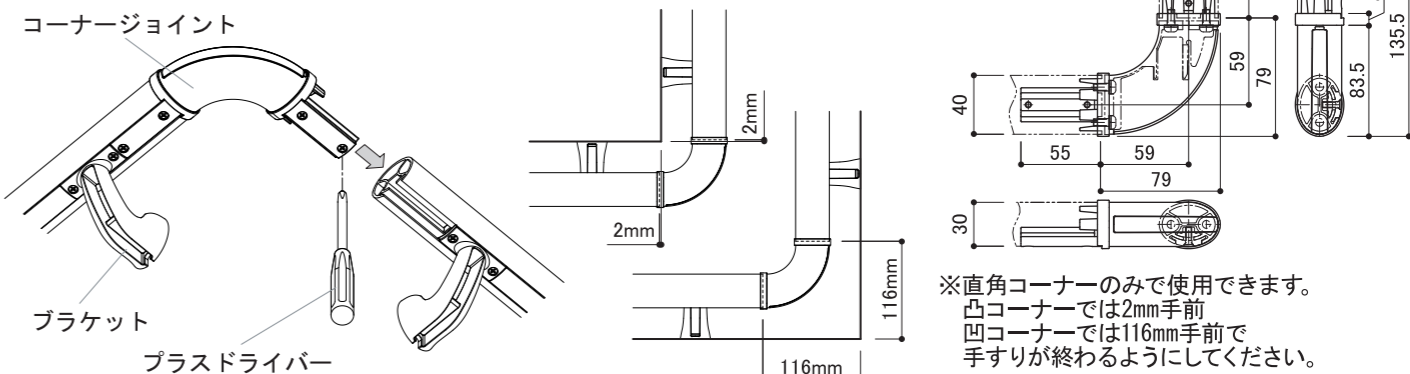
カバーの取外し方



施工方法（曲り部、エンド部）

⑤ コーナージョイント接続（手すりが水平な場合にのみ使用できます）

● コーナージョイントと握りを手すり固定ネジにて固定します。
※この時、握りとコーナージョイントにガタツキがないことを確認してください。



⚠ **注意** ● 手すりはジョイント奥まで差し込んだことを
確認のうえネジ止めしてください。

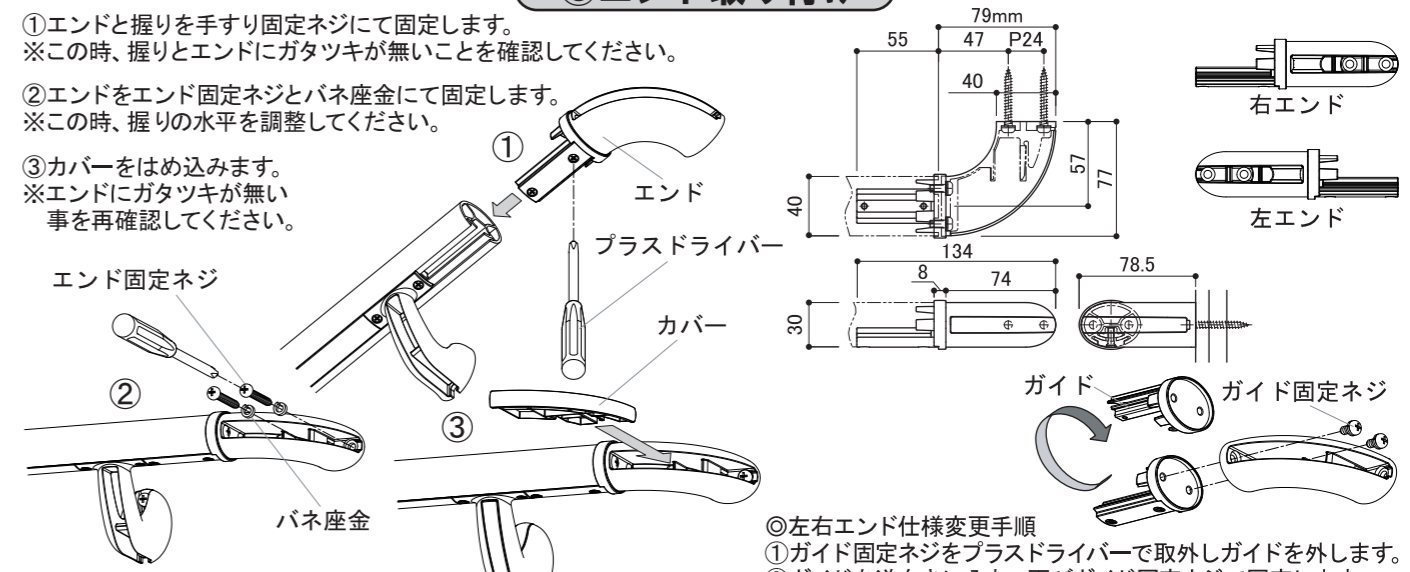
⚠ **警告** ● コーナージョイントを使用する場合、
必ず両側にブラケットを取り付けてください。

⑥ エンド取り付け

① エンドと握りを手すり固定ネジにて固定します。
※この時、握りとエンドにガタツキがないことを確認してください。

② エンドをエンド固定ネジとバネ座金にて固定します。
※この時、握りの水平を調整してください。

③ カバーをはめ込みます。
※エンドにガタツキが無い
事を再確認してください。

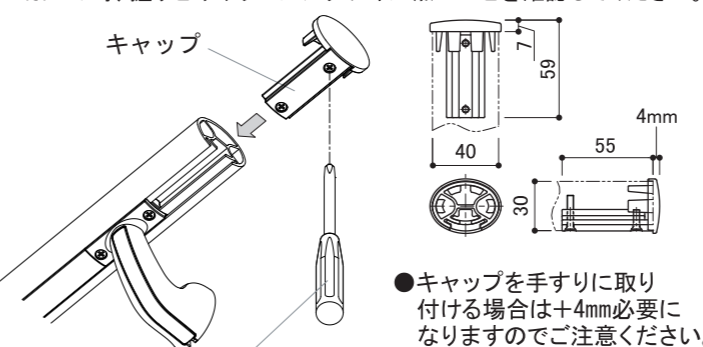


⚠ **注意** ● 手すりはエンド奥まで差し込んだことを
確認のうえネジ止めしてください。

⚠ **警告** ● エンドを使用する場合、
必ず隣にブラケットを取り付けてください。

⑦ キャップ取り付け

① 仮止めしてあるM4x20mmのネジを外します。
② キャップを握りに挿入します。
③ 手すり固定ネジにて固定します。
※この時、握りとキャップにガタツキがないことを確認してください。

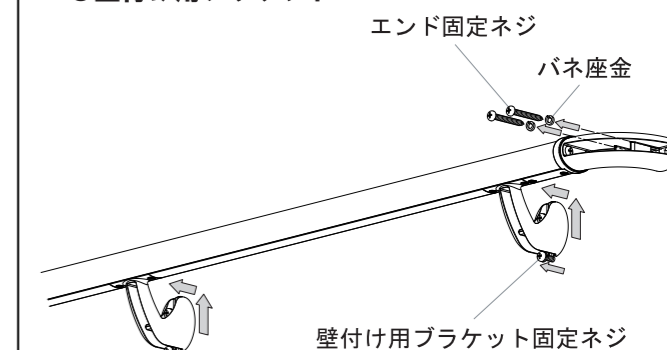


⚠ **注意** ● 手すりはキャップ奥まで差し込んだことを
確認のうえネジ止めしてください。

⚠ **警告** ● キャップを使用する場合、
必ず隣にブラケットを取り付けてください。

手すりの外し方

● 壁付け用ブラケット



- 壁付け用ブラケット固定ネジをゆるめます。
- エンドがある場合はエンド固定ネジとバネ座金を全て外します。
- 手摺全体を上を持ち上げます。
- 上がりきったら手前に引きます。